



米作りの夜明け

中山 久蔵

【指導事例 1】

1 主 題 「希望と勇気をもってくじけずに」〔希望と勇気、努力と強い意志〕

2 ねらい

中山久蔵の生き方を知り、より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜こうとする心情を育てる。

3 教材について（教材の生かし方や人物像）

本教材は、北海道稲作の父と称される中山久蔵の功績に触れることを通して、希望をもつことの大切さや、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜こうとする心情を育むことをねらいとしています。

前半では、中山久蔵が一念発起をして北海道に渡り、農業に従事する中で米作りの重要性に気付くとともに、困難を乗り越えようとする強い意志を明らかにする場面が示されています。

後半では、寒冷地での稲作を行うことの困難さに直面する久蔵の姿や、米作りが成功した後もより高い目標「百万石」の夢に向かって亡くなる直前まで水田を見回る姿が示されています。

指導に当たっては、中山久蔵が困難を乗り越えてきた思いを多面的・多角的に話し合い、価値理解・他者理解を深めたり、中山久蔵の生き方を振り返り道徳的価値を自分との関係で捉えたりして、自分の生き方について考えを深めていくことが重要です。

4 展開例—①「中山久蔵の功績に触れることを通して、希望をもつことの大切さや人間の強さについて考える展開」

	●学習活動 ○主な発問 ◎中心的な発問 ・予想される子どもの反応	・指導上の留意点（■評価）
導入	<ul style="list-style-type: none"> ● かつては稲作困難の地であった北海道が、中山久蔵の努力によって可能になったことを知る。 ○ 北海道の稲作のことで知っていることはありますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・昔は、あまりお米が作られなかったみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図帳や農林水産省の統計資料等を参考として活用する。 ・ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ● 教材「米作りの夜明け」を読み、話し合う。 ○ 中山久蔵の米作りには、どんな困難がありましたか。 <ul style="list-style-type: none"> ・寒い夜の水田に沸かしたお湯を風呂桶で夜通し流す。 ・「稲作は不向きだから、水田をあきらめたらどうか。」という人も出てきた。 ◎ 久蔵の心を支えたのは、どのような思いでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・生まれ変わったつもりで再出発したい。 ・北海道で百万石がとれるまでは、あきらめない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当時の米作りの事情や久蔵の取組について確認する。 ・登場人物が困難を乗り越えてきた思いを多面的・多角的に話し合うことを通して、価値理解・他者理解を深めることができるようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 自己を見つめる。 ○ 中山久蔵の生き方について、あなたはどう感じましたか。 <ul style="list-style-type: none"> ・希望を最後まで持ち続けたのがすごい。自分もまねしたい。 ・自分だったら、途中であきらめたかもしれない。自分もこのような強さを身に付けたい。 ● 自己の生き方について考えを深める。 ○ 友達の考えを聞いて、自分が大切にしたいと思ったことを書きましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくも○○君みたいに、あきらめない気持ちを持ちたいと思った。 ・続けることは難しいことだけど、頑張りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の生き方を振り返り、道徳的価値を自分との関係で捉え、友達と交流する。 ・友達との交流を通して深まった自分の考えを記述する。 ■ 困難があってもくじけずに努力してやり抜こうとする心情について、自分との関わりで考えている。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ● 教師の説話を聞く。 ※自分の住む地域、北海道の発展に尽力のあった人物の功績を紹介し、その夢や希望が実現した現在についての話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜こうとする心情が育まれるようにする。

【指導事例 2】

1 主 題 「だれのために、何のために働くか」〔勤労・公共の精神〕

2 ねらい

中山久蔵の生き方から、働くことの意義を理解し、進んで社会のために役に立とうとする態度を育てる。

3 展開例—②「中山久蔵の生き方を通して、社会のために進んで働くことの素晴らしさについて考える展開」

4 主な学習活動

(1) みんなは、何のために働くと思いますか。

- ・自分が生活するため。
- ・お金を稼ぐため。
- ・みんなが困らないため。

(2) 中山久蔵はどんな思いで、苦労の未育てた種もみを無償で配ったと思いますか。

- ・自分だけでなく、他の人も北海道で米を作ることができるようになってほしいという思い。
- ・一人でも多くの人が、一粒でも多く種もみを育てれば、北海道に暮らす人たちが幸せになるのではないかという思い。
- ・「北海道で百万石の米をとる」という夢を叶えたいという思い。

(3) 中山久蔵のように、誰かのために働いてよかったと思ったことはありますか。

- ・掃除当番で床を一生懸命に磨いた時、先生に「とても気持ちがいい」と喜んでもらってよかったと思った。
- ・1年生のお世話をしていた時に、「また、明日も来てね」と笑顔で手を振られた時によかったと思った。
- ・仕事で忙しいお母さんのために、夕御飯を作ったら「とても助かる」と感謝された時によかったと思った。

※児童の清掃活動の様子などを撮影しておき、授業の最後に見ることも考えられる。

□ 活用場面例（道徳科以外での活用事例）

■ 国語科

読むことの学習において、興味のある人物の生き方や人生等を描いた伝記を読むことを通して、自分を見つめ直し、自分の生き方について考えることができるようにする。また、中山久蔵の行動や生き方と、自分の経験や考えなどとの共通点や相違点を見付けることを通して、共感するところや取り入れたいところなどを中心に考えをまとめることができるようにする。

■ 社会科

農業に関する学習において、中山久蔵の生き方に触れることを通して、食糧生産に関わる人々が生産を高めるために様々な工夫や努力をしていることに対して共感的に理解することができるようにする。また、中山久蔵の工夫や努力を考えることを通して、北海道において、寒冷地稲作を進めるための先人の思いについての理解を深めることができるようにする。

■ 特別活動（学校行事）

学校行事の勤労生産・奉仕的行事における学級や地域の美化活動や清掃活動の指導において、中山久蔵が無償で種もみを配ったことなどを考えることを通して、働くことの大切さや意義について気付くことができるようにする。

■ 家庭や地域との連携

学級通信等において、本教材を活用した学習の様子と日常生活の中で積極的に働いている活動の様子を関連付けて家庭に伝えることを通して、家庭や地域から道徳教育への協力が得られ、児童の実践意欲を高めることができるようにする。